

日本民間教育大賞

授賞式 記念講演会 パネルディスカッション 祝賀会



参議院議員
大島九州男氏



衆議院議員
元文部科学大臣
下村博文氏



(一社) 日本青少年育成協会 会長
(株) ティエラコム
代表取締役社長
増澤空氏



(公社) 全国学習塾協会
会長 安藤大作氏



全日本私塾教育ネットワーク
副理事長 仲野十和田氏



全国学習塾協同組合
理事長 森貞孝氏



日本民間教育大賞 司会
(一社) 日本青少年育成協会 副会長
(株) ヒューマレッジ 相談役
木村吉宏氏

3月23日(月)、東京都千代田区の如水会館にて、「日本民間教育大賞 授賞式・記念講演会 パネルディスカッション・祝賀会」が開催され、全国から教育関係者が集い盛大に行われた。

日本民間教育大賞は、75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。本年度は2025年10月から12月までの間公募を行い、推薦された方々を対象に厳正な審査を行った結果、民間教育最高功労賞に3名、民間教育特別功労賞に1名の受賞者が選出された。

最初に行われた記念講演会 パネルディスカッションのテーマは、「5年後の塾はどうなっているか? - AIの進化がもたらす『塾革命』」。最前線走る5名のパネリストが登壇して、独自のAIの活用方法、個別最適化された学びや講師の役割の変化、塾経営に求められていることなど、示唆に富んだ議論が繰り広げられた。

その後、お祝いに駆けつけた元文部科学大臣の衆議院議員 下村博文氏が祝辞の言葉を述べるとともに、「教育は一人ひとりが幸せになるためであるはずですが、今の教育では幸せではありません。最先端のAIを導入して活用するとともに、非認知能力を高める役割を民間教育に担っていただきたい」と語った。

その後は授賞式。司会を務めたのは、(一社)日本青少年育成協会 副会長・(株)ヒューマレッジ 相談役 木村吉宏氏。冒頭、この1年にお亡くなりになった民間教育関係者のご貢献に感謝するとともにご冥福を祈って参加者全員で1分間の黙祷を捧げた。その後、選定委員を代表して全国学習塾協同組合 理事長 森貞孝氏が開会の挨拶。

「本日は本当におめでとうございます。教育の世界はどんどん変わっています。これからはAI関係の方が日本民間教育大賞に選ばれるのではないかと私はイメージしております」と述べ、授賞式へと移っていった。

「民間教育最高功労賞」受賞者は、学研脇町教室 指導者 佐藤勝代先生、(株)城南進学研究社 代表取締役会長 下村勝己先生、(株)開倫塾 代表取締役 開倫塾 日本語学校 理事長・校長 林明夫先生、「民間教育特別功労賞」受賞者は、岡村ゼミナール (株) 創業者 岡村寛三郎先生。下村勝己先生は体調不良で欠席のため、代わりに長女の下村友里氏が表彰され、岡村寛三郎先生の受賞は、岡村ゼミナールの跡を継いだご子息の岡村明氏が表彰された。表彰状の授与は、私塾協同組合連合会 理事長 坂田義勝氏、表彰楯の授与は、学習塾公開企業協議会 会長 立木康之氏が行った。授賞式の最後は、全日本私塾教育ネットワーク 副理事長 仲野十和田氏が開会の挨拶をした。

祝賀会では、選定会議を代表して(公社)全国学習塾協会 会長 安藤大作氏の挨拶で始まり、多くの参加者から祝辞が述べられ、顧問である参議院議員 大島九州男氏もお祝いの言葉を述べた。花束贈呈、三本締めへと進み、(一社)日本青少年育成協会 会長 (株)ティエラコム 代表取締役社長 増澤空氏の挨拶で閉会した。



ダイジェスト版



第1部 記念講演会



第2部 授賞式



第3部 祝賀会

日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は上記 QR コードからご覧いただけます。
● 映像協力 ● (株)フレックス-design office[mooov]



日本民間教育大賞選定会議

(構成団体・団体名50音順)

- ・一般社団法人 日本青少年育成協会
- ・学習塾公開企業協議会
- ・公益社団法人 全国学習塾協会
- ・私塾協同組合連合会
- ・全国学習塾協同組合
- ・全日本私塾教育ネットワーク
- ・特定非営利活動法人 学習塾全国連合協議会
- ・民間教育連盟

顧問 下村博文 衆議院議員 元文部科学大臣

顧問 大島九州男 参議院議員



民間教育特別功労賞
おかむら かんざぶろう
岡村寛三郎氏
岡村ゼミナール(株)創業者



民間教育最高功労賞
はやし あきお
林明夫氏
開倫塾代表取締役
開倫塾日本語学校 理事長・校長



民間教育最高功労賞
しもむら かつみ
下村勝己氏
(株)城南進学研究社 代表取締役会長



民間教育最高功労賞
さとう かちよ
佐藤勝代氏
学研協町教室 指導者



●略歴●
おかむら・かんざぶろう。1945年兵庫県生まれ。82年、兵庫県姫路市に岡村ゼミナールを設立。兵庫県西部地域一帯に校舎展開を図り、5万超の卒業生を輩出。学習塾のみならず幼児教育や通訳案内士の育成、日本語学校の設立など多方面での教育事業に尽力する一方、「PEN

●略歴●
はやし・あきお。1950年栃木県生まれ。69年足利市に開倫塾設立、北関東・東京に校舎を展開。2001年、開倫ユネスコ協会18年、開倫塾日本語学校設立。現在、栃木県生産性本部会長、栃木県経済同友会理事、文字活字文化推進機構評議員、(学)有朋学園有朋高等学校理事長(福島市)、宇都宮大学・作



●略歴●
しもむら・かつみ。1950年神奈川県生まれ。82年、(株)城南進学研究社取締役、85年、代表取締役社長、2016年代表取締役社長CEOに就任。1961年の同社創業以来の理念である「生徒第一主義」を念頭に、同社を乳幼児から社会人までを対象に幅広い教育サービスを提供する総合教育ソリューション企業として成



●略歴●
さとう・かちよ。1944年徳島県生まれ。81年1月、徳島県脇町に開室。学習塾の理念「子どもたちに学び、喜び、自信、生きる力を」を大事にし、地域密着型教室として信頼を得る。「この街と日本の将来を創る確固たる人材力」を持つ一人でも多くこ

●授賞理由●
兵庫県を中心とする地域の小中高校生の学力の向上に寄与するとともに、日本語学校の設立や事業者団体の設立などを通じて塾の地位向上に貢献した功績

●受賞のご感想
寛三郎は昨年3月26日に亡くなり、岡村ゼミナールを継いだ私が本日お招きいただききました。父は目立ちたがり屋でしたので、このような



立派な式典で受賞したことをきつと天国で手を打って喜んでいます。外交的な性格で全国の先生方と交流があることを、小さい頃からよく聞いておりました。実際に父がどんな実績を残したのか、日本の教育に何らかの貢献をすることができたのか、はなはだ心もとないところがあります。経営者らしい考え方をもち、未来について考えるのが好きだったようです。

●授賞理由●
開東を中心に塾を展開して小中高校生の学力向上に寄与するとともに、全国模擬授業大会を主催して塾講師の指導力向上に寄与した功績

●受賞のご感想
私心の支えです。子どもたちを指導し、喜びや悲しみをともに過ごす学習塾の仕事は本当に素晴らしいと思っています。また、6年ほど前にスタートした開倫塾日本語学校では、現在80名の留学生をお預かりし、改めて教育ほど尊いことはないと感じています。昨年、法務大臣表彰を授与されました。栃木刑務所において15年間にわたって受刑者の皆さまに読み書き計算などの基礎教育を行い、矯正教育に貢献したことが受賞の理由です。およそ100名の受刑者

●授賞理由●
「城南コベッツ」のブランドで個別指導塾の全国展開を行うなど、民間教育の発展に寄与した功績

●受賞のご感想
本日は体調不良で本人が欠席のため、長女の私下村友里がメッセージを代読させていただきました。日本民間教育大賞において民間教育最高功労賞を頂戴しましたこと、身に余る光栄です。私は1985年に城南進学研究社の社長に就任しました。今年創業65年

●授賞理由●
徳島県を中心とする地域において乳幼児から高校生まで幅広い指導を行い、民間教育の発展に寄与した功績

●受賞のご感想
私は1980年の学研教室開設時の指導者一期生です。徳島県美馬市脇町に学研教室を構えて今年47年目を迎え、3歳から中学3年生までの算数・数学・国語・英語の指導にあたっています。理系出身の亡き夫の助言をもとに、科学の不

●授賞理由●
会に参加できることに誇りを感じています。研修はもろんのこと、親しい指導者のお仲間と近況を報告し合い、一緒に旅行をするなど交流を深めてきました。これこそが学研のフランチイズの良さだと思います。80歳を超えて指導者としての引き際が迫っていますが、地域密着型塾として、また認知能力と非認知能力を育む学びの場として学研教室を存

●授賞理由●
私自身、現在は会長として会社を見守る立場ですが、本日この賞をいただいたことを新たな責任の始まりと受け止め、次世代を支える役割として微力ながら塾業界の発展に貢献してまいりたいと存じます。